

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	北陸財務局長
【提出日】	平成24年10月24日
【四半期会計期間】	第43期第2四半期（自平成24年6月21日 至平成24年9月20日）
【会社名】	株式会社ハチバン
【英訳名】	HACHI-BAN CO.,LTD.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 後藤 四郎
【本店の所在の場所】	石川県金沢市新神田一丁目12番18号
【電話番号】	076-292-0888（代表）
【事務連絡者氏名】	執行役員管理部経理部長 高瀬 了
【最寄りの連絡場所】	石川県金沢市新神田一丁目12番18号
【電話番号】	076-292-1438（直通）
【事務連絡者氏名】	執行役員管理部経理部長 高瀬 了
【縦覧に供する場所】	株式会社大阪証券取引所 （大阪市中央区北浜一丁目8番16号）

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第42期 第2四半期連結 累計期間	第43期 第2四半期連結 累計期間	第42期
会計期間	自平成23年 3月21日 至平成23年 9月20日	自平成24年 3月21日 至平成24年 9月20日	自平成23年 3月21日 至平成24年 3月20日
売上高(千円)	3,045,044	3,132,359	5,938,945
経常利益(千円)	270,808	250,683	333,566
四半期(当期)純利益(千円)	141,168	131,082	143,619
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	132,755	108,066	138,001
純資産額(千円)	2,884,285	2,701,023	2,858,729
総資産額(千円)	4,309,818	4,165,786	4,261,299
1株当たり四半期(当期)純利益 金額(円)	9.19	8.82	9.35
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額(円)	-	-	-
自己資本比率(%)	66.92	64.84	67.09
営業活動による キャッシュ・フロー(千円)	218,958	222,569	333,427
投資活動による キャッシュ・フロー(千円)	119,957	103,213	195,431
財務活動による キャッシュ・フロー(千円)	85,149	227,512	129,592
現金及び現金同等物の四半期末 (期末)残高(千円)	486,686	374,774	483,652

回次	第42期 第2四半期連結 会計期間	第43期 第2四半期連結 会計期間
会計期間	自平成23年 6月21日 至平成23年 9月20日	自平成24年 6月21日 至平成24年 9月20日
1株当たり四半期純利益金額(円)	5.40	5.84

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。

3. 第42期第2四半期連結累計期間の四半期包括利益の算定にあたり、「包括利益の表示に関する会計基準」(企業会計基準第25号 平成22年6月30日)を適用し、遡及処理しております。

4. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について重要な変更はありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

(1) 経営成績の分析

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災からの復興需要を背景として緩やかな景気回復が見られたものの、欧州金融危機や長期化する円高の懸念、株価の低迷など、依然として不透明な状況が続いております。

外食産業におきましても、デフレ傾向や雇用情勢の悪化懸念などによる、消費者の節約志向が依然として強く、厳しい経営環境が続いております。

このような状況のもと当社グループは、「食の安心・安全」の維持向上とお客さまの信頼を最優先に、事業活動を展開しております。そしてお客様に新しい価値を提供することを重要課題として取り組み、店舗改装による店舗イメージの刷新、より高品質・より健康志向の商品を開発して提供することに注力しております。

当第2四半期連結会計期間末の当社グループの店舗数は、国内153店舗、海外105店舗、合計258店舗（前期末比4店舗増）となっております。なおその内訳は、国内らーめん店舗142店舗、和食店舗11店舗、海外店舗105店舗であります。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は31億32百万円（前年同期比2.9%増）となり、営業収益（売上高とロイヤリティ収入等の合計）は33億92百万円（前年同期比3.0%増）となりました。営業利益は和食直営店1店舗の業態転換に伴う一時的費用26百万円を計上したことにより1億93百万円（前年同期比2.2%減）、経常利益は受取配当金が減少したことにより2億50百万円（前年同期比7.4%減）、四半期純利益は1億31百万円（前年同期比7.1%減）となりました。

報告セグメント別の状況につきましては次のとおりであります。

外食事業

（らーめん部門）

8番らーめんフランチャイズチェーンの展開を主とするらーめん部門においては、立地変化に対応したスクラップアンドビルドや店舗改装による店舗イメージの刷新、より高品質・より健康志向の商品の提供、接客サービスの維持向上に取り組み、来店客数の増加に努めております。店舗営業面においては、4月に「スープの無いらーめん」という特徴ある商品「唐麺」「辛・唐麺」の認知を高めるための販売キャンペーン、7・8月には「餃子Wがお得！」キャンペーンを実施し、来店客数の増加に努めました。そのほか9月には、地元の食材を使った「能登限定メニュー」を石川県能登地区（羽咋市以北）の8番らーめん店12店舗限定で発売し、好評を得ております。店舗展開の状況につきましては、加盟店1店舗の移転ならびに加盟店3店舗の改装を実施いたしました。また、加盟店都合により1店舗を閉店しました。当第2四半期連結会計期間末の店舗数は142店舗（内加盟店舗数120店舗、直営店舗数22店舗、前期末比1店舗減）であります。

（和食部門）

主として八兆屋、長八、野ふうど等の和食料理店を直営店方式により展開する和食部門においては、個店ごとの店舗特徴や立地特性をよりアピールするほか、季節の変化に応じた健康志向メニューの提供に取り組み、来店客数の増加に努めております。7月には新業態の開発として1店舗を業態転換いたしました。当第2四半期連結会計期間末の店舗数は11店舗であります。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の営業収益（売上高とロイヤリティ収入等の合計）は28億86百万円（前年同期比2.3%増）、経常利益は和食直営店1店舗の業態転換に伴う一時的費用26百万円を計上したことにより4億24百万円（前年同期比1.7%減）となりました。

外販事業

当社製品を主要販売品目とする外販事業は、生麺ブランド「八番麺工房」、生冷凍餃子を国内各地の生活協同組合

様、量販店様を中心に販売の拡大に努めております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は4億25百万円（前年同期比2.8%増）、経常利益はより激しさを増す販売競争の中で13百万円（前年同期比43.8%減）となりました。

海外事業

8番らーめんフランチャイズチェーンエリアライセンス契約による海外店舗展開ならびに主としてラーメンスープ・エキス等の食材の輸入と販売を行う海外事業においては、既存出店地域での「8番らーめん」ブランドの確立、新規出店、スクラップアンドビルドに取り組むほか、高品質なラーメンスープ・エキスの開発と生産体制の充実増強に努めております。

当第2四半期連結会計期間末の店舗数は105店舗（内タイ王国97店舗、香港5店舗、中華人民共和国遼寧省3店舗）となりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の営業収益（売上高とロイヤリティ収入等の合計）は、タイ王国で8番らーめんチェーン店を展開する合弁会社へのセントラルキッチン用設備機器の売上計上と、同社からのロイヤリティ収入の増加があったことにより80百万円（前年同期比37.8%増）、経常利益は46百万円（前年同期比52.6%増）となりました。

(2) 財政状態の分析

（資産）

当第2四半期連結会計期間末における資産の残高は、前連結会計年度末に比べ95百万円減少して41億65百万円（前連結会計年度比2.2%減）となりました。これは主に長期貸付金が57百万円増加したものの、現金及び預金が1億8百万円減少したことや建物及び構築物が28百万円減少したことによるものであります。

（負債）

当第2四半期連結会計期間末における負債の残高は、前連結会計年度末に比べ62百万円増加して14億64百万円（前連結会計年度比4.4%増）となりました。これは主に、短期借入金が68百万円増加したことによるものであります。

（純資産）

当第2四半期連結会計期間末における純資産の残高は、前連結会計年度末に比べ1億57百万円減少して27億1百万円（前連結会計年度比5.5%減）となりました。これは主に利益剰余金が1億円増加したものの、自己株式2億35百万円を取得したことによって減少したことによるものであります。

(3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における連結ベースの現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、税金等調整前四半期純利益が2億50百万円あったものの、自己株式の取得による支出2億35百万円、税金等の支払額79百万円などがあったことにより、前連結会計年度末に比べ、1億8百万円減少し、当第2四半期連結会計期間末の資金は3億74百万円（前年同期比23.0%減）となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動によって得られた資金は、2億22百万円（前年同期比1.6%増）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益が2億50百万円（前年同期比5.4%減）があったことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動によって使用した資金は、1億3百万円（前年同期比14.0%減）となりました。これは主に、貸付による支出57百万円（前年同期比10.6%増）や有形固定資産の取得による支出34百万円（前年同期比48.6%減）があったことによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動によって使用した資金は、2億27百万円（前年同期比167.2%増）となりました。これは主に、自己株式の取得による支出2億35百万円（前年同期比2億34百万円増）があったことによるものであります。

(4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(5) 研究開発活動

該当事項はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	68,000,000
計	68,000,000

【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末現在発行数(株) (平成24年9月20日)	提出日現在発行数(株) (平成24年10月24日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	16,040,558	16,040,558	大阪証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	単元株式数 1,000株
計	16,040,558	16,040,558	-	-

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総 数増減数 (株)	発行済株式総 数残高(株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額 (千円)	資本準備金残 高(千円)
平成24年6月21日 ～平成24年9月20日	-	16,040,558	-	1,518,454	-	379,685

(6) 【大株主の状況】

平成24年9月20日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式総数 に対する所有株 式数の割合(%)
日本トラスティ・サービス信託銀行 株式会社(信託口)	東京都中央区晴海1-8-11	756	4.71
株式会社北陸銀行	富山県富山市堤町通り1-2-26	733	4.57
ハチパン取引先持株会	石川県金沢市新神田1-12-18	594	3.71
麒麟麦酒株式会社	東京都中央区新川2-10-1	591	3.69
株式会社ジーエスシー	石川県金沢市高尾南2-130	509	3.18
日清製粉株式会社	東京都千代田区神田錦町1-25	375	2.34
後藤時子	石川県金沢市	302	1.89
株式会社新生銀行	東京都中央区日本橋室町2-4-3	298	1.86
明治安田生命保険相互会社	東京都千代田区丸の内2-1-1	258	1.61
後藤四郎	石川県金沢市	250	1.56
計	-	4,669	29.11

(注) 当社は自己株式1,393千株を保有しておりますが、上記の表には記載しておりません。

(7)【議決権の状況】

【発行済株式】

平成24年9月20日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 1,393,000	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 14,480,000	14,480	-
単元未満株式	普通株式 167,558	-	-
発行済株式総数	16,040,558	-	-
総株主の議決権	-	14,480	-

【自己株式等】

平成24年9月20日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
株式会社ハチパン	石川県金沢市新神田 1-12-18	1,393,000	-	1,393,000	8.68

2【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書提出後、当四半期累計期間における役員の異動は、次のとおりであります。

退任役員

役名	職名	氏名	退任年月日
取締役	生産企画室長	金村 明	平成24年9月20日

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（平成24年6月21日から平成24年9月20日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成24年3月21日から平成24年9月20日まで）に係る四半期連結財務諸表について、新日本有限責任監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月20日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月20日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	486,052	377,174
売掛金	351,652	398,798
商品及び製品	63,205	61,001
原材料及び貯蔵品	21,053	24,402
繰延税金資産	66,808	66,273
その他	98,310	102,632
流動資産合計	1,087,082	1,030,284
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	718,498	689,987
機械装置及び運搬具(純額)	92,044	88,683
工具、器具及び備品(純額)	65,107	56,582
土地	1,079,594	1,079,594
有形固定資産合計	1,955,245	1,914,847
無形固定資産	26,182	18,592
投資その他の資産		
投資有価証券	308,104	285,088
長期貸付金	81,360	138,535
関係会社出資金	73,047	79,680
差入保証金	339,062	339,098
保険積立金	248,537	229,122
繰延税金資産	95,003	82,771
その他	71,300	70,586
貸倒引当金	23,626	22,823
投資その他の資産合計	1,192,788	1,202,061
固定資産合計	3,174,216	3,135,501
資産合計	4,261,299	4,165,786

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月20日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月20日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	202,927	234,532
短期借入金	121,761	189,992
未払法人税等	76,220	104,253
賞与引当金	88,427	89,417
未払費用	246,644	249,018
その他	74,490	56,823
流動負債合計	810,470	924,037
固定負債		
長期借入金	131,690	101,694
長期未払金	255,957	240,359
長期預り保証金	204,451	198,671
固定負債合計	592,098	540,724
負債合計	1,402,569	1,464,762
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,518,454	1,518,454
資本剰余金	1,151,650	1,151,650
利益剰余金	429,608	529,993
自己株式	226,772	461,846
株主資本合計	2,872,941	2,738,251
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	14,212	37,227
その他の包括利益累計額合計	14,212	37,227
純資産合計	2,858,729	2,701,023
負債純資産合計	4,261,299	4,165,786

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年3月21日 至平成23年9月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年3月21日 至平成24年9月20日)
売上高	3,045,044	3,132,359
売上原価	1,531,220	1,538,437
売上総利益	1,513,824	1,593,921
営業収入	250,640	260,603
営業総利益	1,764,464	1,854,524
販売費及び一般管理費		
運賃	140,697	145,289
役員報酬	49,017	53,848
給料及び手当	581,904	604,883
賞与引当金繰入額	78,375	76,399
退職給付費用	9,475	9,277
地代家賃	126,455	129,131
水道光熱費	83,947	90,072
減価償却費	46,864	43,035
その他	450,241	509,469
販売費及び一般管理費合計	1,566,979	1,661,406
営業利益	197,484	193,118
営業外収益		
受取利息	4,839	5,436
受取配当金	50,678	28,391
受取地代家賃	34,243	32,920
受取保険料	2,254	2,757
受取手数料	11,539	13,118
設備賃貸料	8,035	7,812
その他	5,063	5,634
営業外収益合計	116,655	96,071
営業外費用		
支払利息	2,449	1,832
賃貸費用	32,242	31,057
その他	8,639	5,616
営業外費用合計	43,331	38,506
経常利益	270,808	250,683
特別損失		
固定資産除却損	1,862	335
減損損失	757	-
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	3,535	-
特別損失合計	6,155	335
税金等調整前四半期純利益	264,653	250,348
法人税、住民税及び事業税	116,230	106,500
法人税等調整額	7,254	12,766
法人税等合計	123,484	119,266
少数株主損益調整前四半期純利益	141,168	131,082
四半期純利益	141,168	131,082

【四半期連結包括利益計算書】
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年3月21日 至平成23年9月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年3月21日 至平成24年9月20日)
少数株主損益調整前四半期純利益	141,168	131,082
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	8,413	23,015
その他の包括利益合計	8,413	23,015
四半期包括利益	132,755	108,066
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	132,755	108,066
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年3月21日 至平成23年9月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年3月21日 至平成24年9月20日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	264,653	250,348
減価償却費	72,635	69,292
為替差損益(は益)	5,331	721
減損損失	757	-
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	3,535	-
賞与引当金の増減額(は減少)	3,883	990
貸倒引当金の増減額(は減少)	675	803
受取利息及び受取配当金	55,517	33,828
支払利息	2,449	1,832
有形固定資産除却損	1,862	335
売上債権の増減額(は増加)	955	47,146
たな卸資産の増減額(は増加)	4	1,145
仕入債務の増減額(は減少)	9,195	31,604
役員賞与引当金の増減額(は減少)	10,500	12,000
その他	9,625	6,836
小計	288,945	267,038
利息及び配当金の受取額	58,219	36,460
利息の支払額	1,923	1,883
法人税等の支払額	126,282	79,044
営業活動によるキャッシュ・フロー	218,958	222,569
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	67,931	34,928
無形固定資産の取得による支出	2,646	5,500
出資金の払込による支出	-	6,633
差入保証金の差入による支出	-	1,326
差入保証金の回収による収入	2,190	990
貸付けによる支出	52,200	57,756
貸付金の回収による収入	630	1,941
投資活動によるキャッシュ・フロー	119,957	103,213
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(は減少)	-	70,000
長期借入金の返済による支出	53,518	31,765
自己株式の取得による支出	975	235,074
配当金の支払額	30,655	30,673
財務活動によるキャッシュ・フロー	85,149	227,512
現金及び現金同等物に係る換算差額	5,331	721
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	8,519	108,877
現金及び現金同等物の期首残高	478,166	483,652
現金及び現金同等物の四半期末残高	486,686	374,774

【連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更】

該当事項はありません。

【会計方針の変更等】

該当事項はありません。

【四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理】

該当事項はありません。

【追加情報】

当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年3月21日 至 平成24年9月20日)
(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用) 第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

前連結会計年度 (平成24年3月20日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月20日)
債務保証 持分法非適用関連会社ダブルフラウリングカメラ(株)の代表取締役の金融機関からの借入に対して、連結子会社(株)ハチパントレーディングジャパンが債務保証を行っております。 <div style="text-align: right;">保証金額 8,537千円</div>	債務保証 持分法非適用関連会社ダブルフラウリングカメラ(株)の代表取締役の金融機関からの借入に対して、連結子会社(株)ハチパントレーディングジャパンが債務保証を行っております。 <div style="text-align: right;">保証金額 6,391千円</div>

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年3月21日 至 平成23年9月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年3月21日 至 平成24年9月20日)
現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係 現金及び預金勘定 489,086千円 預入期間が3ヶ月を超える定期預金 2,400千円 現金及び現金同等物 486,686千円	現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係 現金及び預金勘定 377,174千円 預入期間が3ヶ月を超える定期預金 2,400千円 現金及び現金同等物 374,774千円

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自平成23年3月21日至平成23年9月20日)

配当に関する事項

(1) 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成23年6月16日 定時株主総会	普通株式	30,704	2.00	平成23年3月20日	平成23年6月17日	利益剰余金

(2) 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間末後となるもの

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成23年10月24日 取締役会	普通株式	30,698	2.00	平成23年9月20日	平成23年12月1日	利益剰余金

当第2四半期連結累計期間(自平成24年3月21日至平成24年9月20日)

配当に関する事項

(1) 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年6月14日 定時株主総会	普通株式	30,697	2.00	平成24年3月20日	平成24年6月15日	利益剰余金

(2) 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間末後となるもの

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年10月22日 取締役会	普通株式	29,294	2.00	平成24年9月20日	平成24年12月3日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成23年3月21日至平成23年9月20日)

報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)2	四半期連結損 益計算書計上 額 (注)3
	外食事業	外販事業	海外事業	合計		
営業収益(注)1 外部顧客への営業 収益	2,823,227	414,232	58,225	3,295,685	-	3,295,685
セグメント間の 内部営業収益又は 振替高	233,794	5,716	30,880	270,390	270,390	-
計	3,057,021	419,948	89,105	3,566,076	270,390	3,295,685
セグメント利益	431,783	23,593	30,592	485,968	215,160	270,808

(注)1. 営業収益は、売上高と営業収入の合計であります。

2. セグメント利益の調整額 215,160千円には、各セグメント間取引消去1,143千円、各セグメントに配分していない全社費用 216,303千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない提出会社の経営管理に係る部門の費用であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間(自平成24年3月21日至平成24年9月20日)

報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)2	四半期連結損 益計算書計上 額 (注)3
	外食事業	外販事業	海外事業	合計		
営業収益(注)1 外部顧客への営業 収益	2,886,906	425,824	80,230	3,392,962	-	3,392,962
セグメント間の 内部営業収益又は 振替高	268,127	5,694	27,702	301,523	301,523	-
計	3,155,033	431,518	107,933	3,694,486	301,523	3,392,962
セグメント利益	424,538	13,255	46,691	484,485	233,802	250,683

(注)1. 営業収益は、売上高と営業収入の合計であります。

2. セグメント利益の調整額 233,802千円には、各セグメント間取引消去1,119千円、各セグメントに配分していない全社費用 235,001千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない提出会社の経営管理に係る部門の費用であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年3月21日 至平成23年9月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年3月21日 至平成24年9月20日)
1株当たり四半期純利益金額	9円19銭	8円82銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	141,168	131,082
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	141,168	131,082
普通株式の期中平均株式数(千株)	15,350	14,847

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

平成24年10月22日開催の取締役会において、当期中間配当に関し、次のとおり決議いたしました。

(イ) 中間配当による配当金の総額.....29,294,118円

(ロ) 1株当たりの金額.....2円00銭

(ハ) 支払請求の効力発生日及び支払開始日.....平成24年12月3日

(注) 平成24年9月20日現在の株主名簿に記載又は記録された株主または登録株式質権者に対し支払いを行います。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成24年10月24日

株式会社ハチパン
取締役会 御中

新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 長坂 隆 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 石田 勝也 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社ハチパンの平成24年3月21日から平成25年3月20日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（平成24年6月21日から平成24年9月20日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成24年3月21日から平成24年9月20日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社ハチパン及び連結子会社の平成24年9月20日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

-
- (注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。
2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。